

令和6年（2024年）度行政評価シート【個表】 令和 6 年 8 月 14 日

評価対象事業		評価者	学校施設課長 鈴木 康之	
教育-15	小学校施設整備事業	☒ 自治事務	主管課	学校施設課
重点事業		☐ 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	学校教育	施策の方針	学校施設の管理・整備

1 事業の目的

対象	市立小学校16校
意図	小学校施設の改修等により教育環境の改善を図るため。
効果	児童の安全・安心な教育環境を整える。

2 令和5年(2023年)度を実施した事業の概要

・機械警備及び防犯カメラ設置・管理業務を委託により行った。	
・鎌倉市立第一小学校外14校の給食室冷暖房設備設置工事設計業務を委託により行った。	
・稲村ヶ崎小学校の特別支援学級教室改修工事を行った。	

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和5年度		令和6年度	達成度
				指標(実績値／目標値)		指標(目標値)	
				事業費(決算／当初)(千円)		予算額(千円)	
01	トイレ整備事業	—	・トイレの洋式化率 ・小中学校におけるみんなのトイレ設置率	主な指標参照 / 主な指標参照		主な指標参照	
				0 / 0		0	
02	エアコン整備事業	給食室の冷暖房設備設置工事に係る設計業務委託料	小学校16校の給食室冷暖房設備設置校数	1 / 16		16	6.25%
				49,245 / 61,600		899,572	
03	特別支援学級教室整備事業	七里ガ浜小学校の特別支援学級の設置に向けた改修工事請負費	小中学校における特別支援学級の設置数	15 / 16		16	93.75%
				44,396 / 45,000		0	
04	機械警備及び防犯カメラ設置管理業務	機械警備及び防犯カメラ設置及び管理に係る委託料	小学校16校の防犯カメラ設置校数	16 / 16		—	100.00%
				4,242 / 4,755		0	
		財源内訳	国県支出金	19,198 / 22500		28,480	
			地方債	59400 / 66400		857,400	
			その他特定財源	/			
			一般財源	19,285 /		13,692	
		事業費の合計(千円)		97,883 / 111,355		899,572	
		人件費(千円)		9,875		10,131	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	2.0	2.3	1.2	1.3	1.3	
会計年度任用職員	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	トイレ整備事業	全ての児童生徒の良好な教育環境づくりに必要な設備であるため。	全ての児童生徒が安全に安心して学校生活を送ることができる教育環境整備に寄与。	改修後、一定期間の経過したトイレの改修について、事業手法も含めた検討が必要である。
02	エアコン整備事業	令和6年度の給食室冷暖房設備設置工事に向けた設計業務を実施した。	教育環境整備に寄与。	体育館の冷暖房設備の設置、管理諸室や普通教室の冷暖房設備の更新の設置について、事業手法も含めた検討が必要である。
03	特別支援学級教室整備事業	令和6年の稲村ヶ崎小学校特別支援学級開設に向けた改修工事を行った。	全ての児童生徒が安全に安心して学校生活を送ることができる教育環境整備に寄与。	—
04	機械警備及び防犯カメラ設置管理業務	小学校16校の防犯カメラの増設・更新及び管理業務を実施した。	全ての児童生徒が安全に安心して学校生活を送ることができる教育環境整備に寄与。	—

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	1 実施済み
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入
		△-2 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施
		△-2 市民等と協働して実施する事業はない 協働実施済の場合のパートナー

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	☐ 拡充	☐ 改善・変更	☒ 現状維持	☐ 縮小	☐ 休止・廃止
児童の安全・安心な教育環境の改善を図るため、緊急性や優先度を考慮しながら計画的な施設整備に努めていく。					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	小中学校におけるトイレの洋式化率						単位	%
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
全ての児童生徒の良好な教育環境づくりに必要な設備であるため	目標値	57.6	70.4	70.4	70.4	70.4	70.4	
	実績値	70.4	69.9	70.1	70.2			
	達成率	122.2%	99.3%	99.6%	99.7%			

指標(単位)	小中学校におけるみんなのトイレ設置率						単位	%
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
全ての児童生徒の良好な教育環境づくりに必要な設備であるため	目標値	88	96	96	96	96	96	
	実績値	96	96	96	96			
	達成率	109.1%	100.0%	100.0%	100.0%			

指標(単位)	小中学校における特別支援学級の設置						単位	%
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
全ての児童生徒の良好な教育環境づくりに必要な設備であるため	目標値	80	84	88	92	96	100	
	実績値	80	84	88	92			
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%			

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名	鎌倉市							
他市実績								

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	
--------------------------	--